

私の改善報告



VOL.4

『人を責めず、方法を攻めろ!』

【製造課Bさんの改善報告】

Bさんは電気メーカーの製造課に勤務しています。職場は組立工程で1日に何種類もの製品を組み立てています。その組立工程にCさんという作業者がいますが、品種切替の際に組立部品の取り違えをするミスをつたび起こしていました。

「バカヤロー！何やってんだ。仕事に集中していないからそんなミスをするんだ！」と班長さんはそのたびに怒鳴っています。でもCさんは一生懸命仕事をしているのです。BさんはCさんと一緒に「ポカミス」防止の改善に取り組みました。

現状の作業方法

組立に使う部品は、品種ごとに箱に入っています。たとえばA製品からB製品に品種が切り替わると、作業者はそれぞれの部品箱から部品をとって組み立てます。

この品種切替のときにミスが多く発生します。

改善点

部品箱に図のような「フタ」をつけました。このことによりA部品を使用しているときにはB部品を取ることが出来ません。

改善後

品種切替に伴う部品の取り違えはなくなりました。今後は新人でも間違えないように、今流れている製品が何なのか一目でわかるように製品に表示をつける改善を考えています。

業種を問わず実践できる「改善」のステップ

トヨタ生産方式活用実践講座

企業訪問セミナー受付中

問合せ先：東京オーキ(株) Club TeamWorker事務局
フリーダイヤル：0120-55-8107 (ゴーゴーパートナー)
E-mail:net@toh.ne.jp

改善前



改善後



間違いによる「ポカミス」が起きるとき、人を責めても問題は解決しません。

そもそも間違いやすい状況のまま作業させていることが問題なのです。悪いのは「間違いを起こす人」ではなく、「間違いやすいやり方だ」と考えたとき、あらたな改善は生れてきます。人を責めず、やり方を責めることは職場改善の基本です。